

# 事業報告書

第46期

(自)令和5年4月1日

(至)令和6年3月31日

社会福祉法人 秀幸福社会  
庄栄エルダーセンター  
大阪府茨木市庄二丁目7-38

# 令和5年度 特別養護老人ホーム・ショートステイ事業報告

## ○R5 年度実績報告

### <特別養護老人ホーム>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
目標人数(名)	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,680	1,736	1,680	1,736	1,736	1,624	1,736	20,496
利用人数(名)	1,585	1,668	1,603	1,627	1,643	1,558	1,642	1,645	1,625	1,641	1,606	1,553	19,396
空き日数(日)	95	68	77	109	93	122	94	35	111	95	18	183	1100
前年比(%)	100.4	104.3	99.0	98.0	97.0	96.5	101.9	100.2	97.3	98.2	112.3	96.5	100.0
目標比(%)	94.3	96.1	95.4	93.7	94.6	92.7	94.6	97.9	93.6	94.5	98.9	89.5	94.6
一日利用平均人数	52.8	53.8	53.4	52.5	53	51.9	53	54.8	52.4	52.9	55.4	50.1	53

利用人数 定員 56 名中 一日平均 53 名 昨対と変わらず

R5 年度間退所者数 ー 15 名 前年度比較 9 名減

### <ショートステイ>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
目標人数(名)	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	580	620	7,320
利用人数(名)	591	570	496	525	629	562	643	576	549	592	554	493	6,780
前年比(%)	113.4	103.4	84.6	80.9	156.9	108.1	112.8	115.0	105.0	118.2	112.4	87.7	106.3
目標比(%)	98.5	91.9	82.7	84.7	101.5	93.7	103.7	96.0	88.5	95.5	95.5	79.5	92.6
一日利用平均人数	19.7	18.4	16.5	16.9	20.3	18.7	20.7	19.2	17.7	19.1	19.1	15.9	18.5

利用人数 定員 20 名中前年度 17.4 名 R5 年度 18.5 名

R5 年度間新規利用者数 ー 115 名 前年度比較 12 名減

## ○R5 年度特別養護老人ホーム・ショートステイ共通報告

中長期計画「職員の育成」に基づき、運営

・介護職員の年度間 入退職状況

入職者(常勤職員) … 6 名 (うち 4 名が夜勤可能)

(非常勤職員) … 10 名

(派遣社員) … 6 名

計 22 名

退職者(常勤職員) … 7 名 (うち 5 名が夜勤可能)

(非常勤職員) … 6 名

(派遣社員) … 6 名

計 19 名

R5 年度も人材紹介会社からの紹介による入職者が多く、紹介料が多く発生しているにも関わらず、退職者計 19 名(派遣含む)のうち 15 名が入職 1 年未満の者であった。

夜勤勤務可能な職員が増えず、今年度も相談職が介護業務に就いている。

R4 年度は派遣介護職 1 名だったが今年度は 6 名派遣され 6 名契約終了となる。

・人材育成について

内部研修 … 事業計画通りの内容で毎月学習会を実施。受講必須とし、各自レポートを提出。新人研修に関しては人員不足で講義が出来るスタッフは勤務に入らなければ現場が回らなかったため実施出来ず。

外部研修 … スタッフ数の減少、感染症対応のため受講できず。  
研修計画に沿った受講がかなわず、個人の知識、技術習得度状況に合わせた資料等の提供が難しく、スキルアップに差が出やすい状況が続いている。特に喀痰吸引が出来るスタッフが6名しかおらず来年度の資格取得は急務である。

・新型コロナウイルス感染症について

12月に2Fで発生し合計20日の入院あり。ショートステイの受け入れには影響はなかった。3月5日に3F、翌日の6日に4Fで発生し合計177日の入院あり。ショートステイ受け入れフロアで発生したため10日間ショートステイの受け入れを停止する。3月の感染では利用者様31名、スタッフ12名が感染し勤務を回すのもギリギリの状況であった。また8月にはインフルエンザの流行があり合計94日の入院となった。

・感染予防策として、

- ・職員は出勤前、出勤時に検温を実施
- ・職員はマスクを常時着用、利用者様の身体介助に入る際にはシールドも着用
- ・勤務中は消毒用アルコールを常時携帯、利用者身体介助終了ごとに消毒実施
- ・各フロア、次亜塩素酸加湿器を連続運転
- ・定時に共用部分のアルコール消毒、定期的な換気を実施
- ・大阪府施策として、職員出勤前抗原検査を週2回実施(R6年度から体調不良時のみに変更)
- ・ショートステイ利用初日に抗原検査の実施
- ・入浴時はフロアごとに誘導し同じフロアの利用者様同士で入浴していただく。(ショートフロアの方とは接触しないようにする)

## OR5年度特別養護老人ホーム事業報告

・利用者平均要介護度 4.2 (男性 3.8 女性 4.3) 前年度から-0.1

・空床減への対応

- ・引き続き長期入院が予測される場合には、一旦退所手続きを取っていただき、新たに選考順位上位者から入所していただく。
- ・急な退所者が出て、早期に次の利用者に入所していただくよう、その前提でロングステイ利用者を獲得する。現在ロングステイ5名(R6年5月17日時点)
- ・退院時にはコロナウイルス流行の点から、個室対応となるため、ショートステイ利用者の部屋使用状況を確認の上、受け入れ日時を決定する。

- ・利用者体調管理、感染症予防について
  - ・利用者様に発熱、咳等の症状がみられるときには、原則個室で対応、状態に応じて抗原検査を実施。
  - ・個室対応中職員はマスクとシールドに加え、専用ディスポガウン、グローブを装着。
  - ・退院後の受け入れについては、無症状でも3日間個室で感染症発生時に準じた対応を実施。

## ○R5 年度ショートステイ事業報告

- ・利用者平均要介護度 3.2 （男性 2.5 女性 3.4） 前年度比較 +0.2
- ・ショートステイ利用の振り分け
 

前年度までショートステイは原則4Fのみであったが他フロアで入院が出た際に空きベッドにショートステイを利用していただき稼働率の向上を行う。
- ・緊急ショート受け入れについて
 

R5 年度も緊急ショートの依頼あり。そこから継続的な利用に繋がった事例もあるので今期も引き続き受け入れ態勢を整える。
- ・ロングステイ利用者確保の継続
 

特養空床対策、入退所チェック業務の負担を軽減し、利用者様へのケアを充実させるためにも常時5名程度のロングステイの方が確保出来ていた。また他フロアよりもスタッフを多めに配置することで業務に対する負担軽減や利用者様への細かな対応に努めていた。
- ・ショートステイ入所時の感染症予防策
  - ・利用前日に本人の体調の他、家族の体調や生活状況を電話で確認
  - ・送迎車のアルコール消毒
  - ・当日自宅へ迎えに上がった際に検温を実施
  - ・到着時に再度検温、抗原検査を実施。その後利用フロアにて体調チェック（バイタルサイン測定、風邪症状等確認）3月のコロナウイルス感染ではショートステイの方から始まったので特に入所の際に注意してウイルスを館内に持ち込まないようにする。

## R5 年度 診療室事業報告

コロナ発生から4年目のR5年度は5類感染症への移行期となり、新しいルールのもとでコロナ感染症とのかかわり方を検討した一年であった。

### <利用者動向>

今年度は特養入所16名、退所15名であった。

入院者内訳については、胆管炎の再発（ステントの閉塞）、膀胱内出血などの入院、心不全、誤嚥性肺炎など呼吸状態悪化による入院などがあつたが、コロナ感染症、インフルエンザ感染症発症、治療後に体調不良をきたし、入院される事例も多くあつた。R6年1月から3月の入院者中、8名の方が死亡退所となっている。今後も感染症予防が重要となっている。

### <健康管理について>

- ・7月 職員健診181名（朋愛会） 9月 特養入所者52名 X-p 撮影（イノメディカル）を
- ・7月より中尾医師の診療が開始となり、現在医師3名での診療体制となっている。
- ・R6年度診療報酬改定で、医療DXの推進が言われており保険証確認や処方せんなどのデジタル化について早急な検討、対応をすすめている。

### <コロナ感染症について>

・コロナ感染症についてはR5年5月より5類感染症に変更となったが高齢者等ハイリスク者への対応強化としての感染対策はR5年度は継続された。大阪府の高齢者施設職員定期抗原検査はR6 3月までで終了。施設独自のショートステイ入所時検査も継続を行っている。結果としてはR5年4月から令和6年3月の1年で1249件の検査を行い、内陽性者が9名判明した。前期は特養におけるコロナクラスターの発生はなかったが、12月と3月にクラスターが発生し、対応を行った。初めてクラスター対応を行う職員も多く、発生時にすぐに動けるマニュアルや訓練の見直しが必要である。

在宅サービス部署においても、コロナ陽性者は発生しており、適切な感染対策のサポートを行っていく必要がある。

- ・コロナ感染症マニュアルを4月に改訂
- ・ワクチンについてはR5年度は春接種、秋接種を診療室にて実施した。R6年度からは秋接種の年1回となり、費用負担もできることから、ワクチン接種率の低下も予想される。

また、R6年3月末でコロナ感染症の特例措置が終了し、治療における公的負担がなくなったため、コロナ治療薬を選択しない場合も予想される。スムーズな治療が行えるような体制を検討していく必要がある。

#### <他感染症について>

8月入所フロアで職員、利用者合わせ、20名のインフルエンザ感染症クラスターがあった。コロナ感染症以外の感染症も季節を問わず流行しており、各感染症のポイントをおさえ有効な感染対策が迅速に行えるよう、職員への周知を引き続き考えていきたい。

#### <職場環境>

R5年度は山田看護師がチーフとなった。また、R5年中は常勤職員1名、非常勤職員1名、R6 2月より派遣職員1名 R6 5月に入職。R6 3月から5月に常勤、非常勤 派遣職員あわせて4名の退職があり、大幅に職員が交代した。また、小さな子供を育児中の看護師が3名おり、急な休みが入ることも多い。オンコールやリーダー業務、指導など体制の整備が厳しい状況ではあるが、フォロー体制をとりながら、お互いのワークライフバランスを保ち、長く定着して働ける職場環境づくりを続けていきたい。

○ R5年度利用者動向

	R5 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	合計
入所	4/6 宮崎定	5/10 山下清 5/16 大平和男	6/19 佐藤美智子 6/19 池田吉泰	7/25 重昭代		9/4 安信篤志 9/9 榎本代美子	10/9 石橋律夫	11/2 田中鶴子 11/6 宮本忠興 11/9 宮崎律子	12/21 村林勇	1/20 阿波順子	2/1 川久保米子 2/20 谷健樹	3月	16名
退所		5/8 中山友雄	6/15 藤田千代子 6/16 松崎力雄 6/20 秋田睦子		8/5 大平和男 8/30 濱崎トミエ		10/1 阿尾忠信 10/8 小泉雄治 10/24 中村順子	11/8 榎宮由美子	12/20 林文子	1/20 中内照枝 1/31 宮崎定	2/19 石橋律夫 2/19 石橋律夫 2/1-2/19退所	3/28 安居院道子	15名
入院	中内照枝 3/31-4/11 森田スミエ 3/26-4/24 中山友雄 2/21	北村美代子 5/14 松崎力雄 5/12-5/26 5/8退所 中村順子 5/6-5/11 秋田睦子 5/13-5/24	濱崎トミエ 8/3-8/30退所 北村美代子 8/17-8/28 小泉雄治 8/24 阿尾忠信 8/25 8/5退所 池田吉泰 8/28 樋口美津子 8/31 中村順子 8/1-8/10	金崎千代子 7/3-7/18 濱崎トミエ 7/1-7/20 7/6 7/7 7/12	9/21 10/8退所 10/1退所 中村順子 10/4-10/7 10/12-10/24退所	喜入チエコ 9/4-9/5 9/5-9/21 中内照枝 9/21 10/2 10/2退所 榎本代美子 11/9 長谷川恒夫 12/2-12/11 喜入チエコ 12/3-12/8 田中鶴子 12/2-12/23 三軒良夫 12/9-12/16 加藤萬里得 12/26-12/27 長谷川恒夫 12/18-12/22	11/19 12/19-12/22 宮崎定 12/19 山下清 12/22 喜入チエコ 12/21 村林勇 12/24-12/26 下野三郎 12/29 山崎弥栄子 12/29 池田吉泰 12/29	1/11-1/20 1/31退所 1/13-1/20 中内照枝 1/13-1/20退所 1/12 1/10 1/10	植田英子 1/11-1/20 三田尻廣子 2/29	高谷千鶴江 3/1 山崎タマ 3/5 安居院道子 3/6-3/28退所 宮崎律子 3/7-3/22 鴨右一 3/9 高垣敏子 3/12 阿波順子 3/18-3/29 村林勇 3/19 山下清 3/28	高谷千鶴江 3/1 山崎タマ 3/5 安居院道子 3/6-3/28退所 宮崎律子 3/7-3/22 鴨右一 3/9 高垣敏子 3/12 阿波順子 3/18-3/29 村林勇 3/19 山下清 3/28	65	
内科	5	7	7	6	6	6	4	5	12	6	3	3	11
整形	0	3	0	1	0	2	4	3	2	0	4	3	3
外科	0	0	1	1	0	0	0	0	3	2	1	0	0
皮膚科	2	2	4	5	2	2	3	2	0	0	0	0	0
脳外	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
眼科	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0
精神神経科	3	2	3	3	2	2	5	4	4	1	2	1	1
泌尿器	2	4	7	3	5	8	4	3	6	0	2	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急外来	0	8	8	3	13	2	1	1	7	0	2	9	0
その他	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	1	1
合計	13	23	30	21	35	26	21	20	35	9	15	22	131
ショート	4	7	7	5	4	4	0	3	3	5	13	5	65
入院日数	71	55	55	90	66	114	58	29	104	131	18	65	856

入院総日数856日  
1人当たり 平均17.4日

R5年度年間業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者	採血 心疾患者 ECG (毎月)					結核検診 胸部レントゲン 9/12 52名	インフルエンザ ワクチン接種	インフルエンザ ワクチン接種	インフルエンザ ワクチン接種	インフルエンザ ワクチン接種		
職員				職員検診 (X-P (B) ECG 検尿エルダー147名 問診 検診 保育 34名 検便 採血) 7/18.20			インフルエンザ ワクチン接種	インフルエンザ ワクチン接種	インフルエンザ ワクチン接種 エルダ134名 保育76名	夜勤従事者 検診 (検尿 問診 診察) 1/31		
診療所	管理栄養士検便 ヘルパー検便 第2木曜 ミーティング											
備考	腰痛体操 浴槽消毒4回/月 風呂水塩素 脱衣室温度 チェック 3回/日 医療廃棄物 処理報告4/11			風呂水検査 (レジオネラ菌 大腸菌・濃度 過マンガン酸k) 7/11						風呂水検査 (レジオネラ菌 大腸菌・濃度 過マンガン酸k) 1/10 酸素申請		

- ・地域生活相談活動
- ・経済支援組織活動

コロナワクチン接種 入所者・職員 6月～7月 10月～12月 施設研修会 4/4「救急対応」(山田)  
 コロナ定期抗原検査 職員 6/6 「感染症対応」(山田 石田)  
 入所時コロナ抗原検査 ショートステイ利用者 R4年8月から継続 R4年8月から継続  
 ひだまり (広報誌) 6月 (有馬) 11月 (山田) 大阪府高齢者福祉実践研究大会2月 (有馬・山口)



## 【配食における事業報告書】

### ・配食実績報告

配食実績表（令和5年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実績	963食	954食	852食	920食	948食	986食	前年比平均 91.5%
前年比	93.7%	97.8%	88.8%	95.0%	87.8%	99.1%	
目標比	96.3%	88.3%	81.9%	88.5%	87.8%	94.8%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実績	962食	894食	833食	718食	794食	848食	目標比平均 91.5%
前年比	101.6%	92.9%	88.0%	80.6%	85.6%	82.1%	
目標比	101.8%	98.2%	91.5%	85.5%	90.7%	93.2%	

令和5年度全体実績は、前年度比・目標比とも91.5%となり、昨年度に続き前年度を下回る結果となった。1年間の合計食数は10672食、月平均食数は889食で、ひと月当たりでは前年度よりも83食減少した。今年度より要介護者の委託事業での新規受け入れが停止されたことから自費利用の割合が増え、一部の毎日など利用回数の多い利用者が食数を占める傾向にある。利用回数の多い利用者が入院や施設入所で中止されると一気に食数が減少するため不安定な状況の中、デイやショートを持ち帰りや緊急の単発利用を受け入れて減少幅を1割以下に抑えることができた。

### 《自費食数の推移》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
自費食数	427食	414食	367食	441食	478食	528食	令和4年度 平均：44.2%
総数に対する割合	44.3%	43.4%	43.1%	47.9%	50.4%	53.5%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
自費食数	522食	449食	411食	339食	402食	446食	令和5年度 平均：48.9%
総数に対する割合	54.3%	50.2%	49.3%	47.2%	50.6%	52.6%	

全体の食数が減少する中、年間自費食数は、前年度5141食、今年度5224食と増加、全体に占める割合は4.7ポイント増加(10.6%増)した。デイサービス利用時の持ち帰りサービスが定着しつつあること、単発的な利用・毎日利用の案内強化により、自費利用増に繋げることができた。

### 《業務内容》

- ・ 安否確認
- ・ 臨時利用の受け入れ（自費）
- ・ 行事食、行事カードの実施
- ・ 個別対応の実施（ご飯の硬さ・量、嗜好の把握、禁止食、お届け時間など）
- ・ リクエストカードの配布及び実施
- ・ 試食の実施（無料）
- ・ 献立表の配布
- ・ デイサービスご利用者様へ配食案内を記載した給食だよりの配布
- ・ 栄養改善型配食新規利用者に対するサービス担当者会議への出席

## 《 課題 》

市の配食事業が縮小され、自費の利用割合が増えているが、自費では利用者の負担が大きい一方、委託料収入がないため事業所の収益は少ない。令和 6 年度からは要介護者は新規だけでなく継続利用者であっても完全に支給が打ち切られるため、更なる減少が予想される。

◆料金が高くても選ばれる付加価値のあるお弁当作りを意識する

### ・各所の連携で安心感のあるお弁当に

- 1、毎月各事業所を訪問したり、栄養改善型配食の利用開始前にはサービス担当者会議に出席することでご利用者様に関する情報を共有し、ケアマネージャー様との信頼関係を強固なものにする
- 2、地域ケア会議に出席し、包括や傍聴のケアマネージャー様に案内チラシを配布し、顔の見える関係づくりを心がけ、要支援者の新規利用へつなげる
- 3、新規の利用開始時には、栄養士も同行し利用者様の状態や生活状況などを把握する
- 4、その時々々の状態にあった食事内容を提案し、状態変化による利用中止がないように努める

### ・お弁当の内容充実のために

- 1、行事食を取り入れるなど飽きのこない弁当作りを行う
- 2、リクエスト頂いた料理を献立を委託業者に伝え、できる範囲で反映する

### ・その他の新規利用者獲得のために

- 1、ひだまり、ホームページに配食サービス案内や写真、献立表などを掲載し、具体的な配食サービス内容がみてわかるようにする
- 3、お一人様 1 回のみ無料で試食を実施し最初の利用のハードルを下げる
- 4、デイサービス(給食だより)やショートステイ(チラシ作成)利用者に持ち帰りサービスの案内を行う

## 《 まとめ 》

令和 5 年度の全体実績は前年度比・目標比とも 91.5%と、前年度を下回る結果となった。要因として、利用希望の多い要介護者の委託事業での新規受け入れが停止され、新規獲得は、要支援者と自費のみに制限されたこと、自費では利用者の負担額が大きく、安価でルールにしばられない民間の配食業者へ利用者が流れたことが考えられる。しかし、デイ・ショート持ち帰りや単発利用の案内強化により、自費利用が増加した。

利用中止者の停止の理由は、施設入所や、入院を機に在宅復帰が困難になったケースが多く、お弁当自体への不満は少なかったため、内容や対応には満足して頂いていると推察している。

今後も、要介護者へは自費利用をすすめる必要があり、値段が高くても利用して頂ける付加価値のあるお弁当作りが課題となる。お弁当内容の充実はもちろん、利用者様やご家族様、ケアマネージャー様との連携を密にし、管理栄養士が窓口であることを強みに多様化するご要望に対応できるよう努める。

**令和5年度 庄栄エルダーデイサービス/認知症対応型デイサービス  
事業報告**

**【令和5年度庄栄エルダーデイサービス/認知症対応型デイサービス稼働報告】**

\* 令和5年度は利用者の施設入所が多い年でもあった。職員の異動、退職者があり新体制の年度になった。

\* 営業方針としては【NO】はなしで、出来る限りの利用者要望の受け入れを行い、体験・新規利用に繋げていった。職員に対してはなるべく指示を出さず職員自身で考えを行動に移すように指導を行っていった。

\* 新規利用者獲得数は前年度より増加はしているが、入院からの入所や認知症で在宅での生活が難しく施設入所への移行が多く、稼働が大きく下回ってしまい売上げ(稼働率)の低下に繋がった。

\* 8月15日台風接近の為、営業中止となる。

\* 本年度は、少数のコロナ感染者はあったものの、クラスターの発生もなく通常営業を行えた年であった。

\* コロナも5類対応にもなり、予定していたデイサービス行事も実施ができ、利用者楽しんで頂いた。コロナ感染にて中止していたボランティアの再開を始める。

**【実績数値】**

令和5年度 通所介護・総合支援事業通所介護 (登録利用者数 49名)

月	営業日数	通所介護	総合支援	合計	前年対比	目標	達成率
4月	25日	897名	39名	936名	96.5%	1,225名	76.40%
5月	27日	940名	49名	989名	98.3%	1,323名	74.70%
6月	26日	866名	49名	915名	87.8%	1,274名	71.80%
7月	26日	896名	49名	945名	87.2%	1,274名	74.10%
8月	27日	897名	42名	939名	115.7%	1,323名	70.90%
9月	26日	862名	43名	905名	91.5%	1,274名	71.00%
10月	26日	868名	38名	906名	89.9%	1,274名	71.10%
11月	26日	836名	39名	875名	89.7%	1,274名	68.60%
12月	26日	861名	37名	898名	90.2%	1,323名	68.80%
1月	24日	817名	29名	846名	93.4%	1,176名	71.90%
2月	25日	902名	29名	931名	101.6%	1,225名	76.00%
3月	26日	926名	38名	964名	96.9%	1,274名	75.60%
平均	25.8日	880.6名	40.0名	920.7名	94.8%	1,269名	72.50%

令和 5 年度 認知症対応型通所介護（登録利用者数 10 名）

	営業日数	合計	前年対比	目標	達成率
4 月	25 日	108 名	90.0%	250 名	43.20%
5 月	27 日	106 名	87.6%	270 名	39.30%
6 月	26 日	97 名	98.0%	260 名	37.30%
7 月	26 日	92 名	90.2%	260 名	35.40%
8 月	27 日	92 名	150.8%	270 名	34.10%
9 月	26 日	121 名	130.1%	260 名	46.50%
10 月	26 日	122 名	119.1%	260 名	46.90%
11 月	26 日	142 名	144.9%	260 名	54.60%
12 月	26 日	129 名	116.2%	260 名	49.60%
1 月	24 日	126 名	165.8%	240 名	52.50%
2 月	25 日	126 名	150.0%	250 名	50.4%
3 月	26 日	113 名	107.6%	260 名	43.50%
平均	25.8 日	114.5 名	117.2%	258 名	44.3%

【業務報告】

- 1、毎月 2 日に課長・相談員のどちらか 1 名にて、ショートステイ・ヘルプステーション・配食と共に実績表を持って事業所廻りの実施。
- 2、認知症対応型の新規獲得が難しい状況で、5-6 時間の単位数で通常の時間より長く施設で過ごして頂ける事をケアマネに営業し、新規獲得に努めた。また、一般デイサービスから認知度の高い利用者様には、ケアマネに相談し、一般から認知症対応への移行の話をしていった。また、ケアマネからの紹介時より【認知症】との記載等があればスタートから認知症対応型を提案して契約に繋げるようにした。
- 3、送迎迎え時に、来所拒否があった場合でも家族様と相談し再度お迎えにいき出来る限り利用して頂けるように心掛けていた。
- 4、利用者個人を重視したケアを大切に取り組み、又家族様からも情報収集をおこない認知症フロアだけで過ごして頂くのではなく、その時の状況に応じ一般フロア内にて過ごして頂ける環境作りを行ってきた。
- 6、認知症の方の意欲、残存能力を活かす為出来る事を継続し個々に合った対応を行った。
- 7、庄栄デイサービスに併設した認知症デイが周知されていない居宅事業所が多く広報と同時に認知症の方への資料チラシを作成し毎月 2 日の事業所廻り時に営業を掛けていた。
- 8、新型コロナウイルス感染防止の徹底。濃厚接触や発熱等の症状のあるスタッフ、利用者は自宅待機と PCR 検査を実施しデイサービス内には【持ち込まない】を徹底した。
- 9、毎月、季節感のあるカレンダーや物作りを職員が見本を制作し、希望される利用者

- 様は職員と一緒に物づくりの一環として趣味活動を実施し、プレゼントとした。
- 10、毎月第3週目は利用者様の誕生日祝いを実施。手作りの写真フレームに職員と撮った写真をプレゼントし、デイサービス全体でのイベントとした。
- 11、イベント行事に関しては、コロナ感染も5類なり十分配慮しながら、診療所（看護師長）と相談し、年間行事を楽しんでいただけるイベントを実施した。

#### 【令和5年度 内部研修】

- 4月 認知症ケア研修 担当：青木
- 5月 接遇/服装/マナー研修 担当：眞田
- 6月 障害に合わせた歩行介助 担当：齊藤
- 7月 実施せず
- 8月 計画書に関する研修 担当：入江主任/兼本/尾関
- 9月 感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止研修 担当：福村幸
- 10月 事故発生予防・再発の防止研修 担当：小野
- 11月 非常災害研修 担当：矢吹
- 12月 身体拘束防止研修 担当：吉田
- 1月 プライバシー保護研修 担当：芦田
- 2月 倫理・法令順守 担当：林
- 3月 窒息時の急変対応 担当：福村看護

・内部研修は基本的にデイ会議にて実施を行ってはいるが、その月に職員、利用者の感染者があった場合は状況に応じて資料を配布し、各自がレポートを提出するようにした。

#### 【令和5年度 外部研修内容】

- ・令和5年度の外部研修は、感染防止に注意しながら参加できる研修会には出来る限り参加をし、スキルアップに努めた。

- 1月16日 中堅社員向けコミュニケーション向上 担当：眞田
- 2月19日 私のモヤモヤ スッキリ！感情ケア講座 担当：眞田
- 5月16日 BCP事業計画に関する研修 感染症/自然災害 担当：芦田
- 9月5日 介護事業者におけるBCP義務化について 担当：今井

### 【令和5年度 伝達研修内容】

- ・伝達研修に関しては、対象となる研修が少なかったが、コロナ禍になってから久しぶりに実施する事ができた。

7月20日 BCP策定に関する研修 担当：芦田主査

2月20日 中堅社員向けコミュニケーション向上 担当：眞田

3月19日 私のモヤモヤ スッキリ！感情ケア講座 担当：眞田

3月18/21日 入浴介助研修 担当：庄栄デイ、高槻デイ、未来

### 【令和5年度 行事/イベント行事報告】

- ・令和5年度に関しては、コロナ感染（5類対応）になり、前年度に比べ色々な行事を実施する事が出来た。又、外部からのボランティアも徐々に再開が始まる。訪問カットサービス（ラビィ）も感染に注意を払い希望者に対して実施する。

\*春の行事 4/27 / 32名参加

\*お菓子作り 5/15～20 / 242名参加

5/15 / 6名・5/16 / 6名・5/17 / 7名・5/18 / 4名・5/19 / 5名・5/20 / 40名  
計242名参加

\*初夏の遠足 5/28（淡路島） / 31名参加（家族様含む）

\*七夕飾り 7/7 / 44名参加

\*カーニバル 8/27 / 21名参加（家族様含む）

\*ちとせ学院敬老会（動画） 9/19 / 36名参加・9/20 / 41名参加

\*秋の大運動会 10/10 / 40名参加

\*孫・子・老ふれ愛フェスタ（作品展示） 11/9～11/11 現地参加7名

\*フェスティバル 12/10 / 18名（家族様含む）

\*クリスマス会 12/22 / 42名参加

\*新春かくし芸大会 1/18 / 39名参加

\*ひな祭りイベント 3/1 / 40名参加

\*外食ツアー（はま寿司） 3/11～15

3/11 / 6名・3/12 / 6名・3/13 / 7名・3/14 / 4名・3/15 / 5名 計28名参加

**令和 5 年度決算期**  
**茨木市コミュニティソーシャルワーカー配置事業**  
**社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）**  
**住宅確保要配慮者居住支援事業**  
**事業報告**

◆**総論**

令和 5 年度は昨年度に引き続き住宅確保要配慮者居住支援法人事業への対応も同時に行い、その対象者のニーズに迅速に応えるべく、関係機関、関係者との連携の構築に努めた。

また昨年度から立命館大学や追手門学院大学、追手門学院中等部などの学生とコラボして、福祉とは異なった学生の視点から UR 総持寺団地や白川地区の地域づくりに取り組み、地域住民からは若者が自分たちの地域のために頑張っている姿をみて元気が出ると好評をいただいている。この取り組みが、大阪府社会福祉協議会社会貢献事業の令和 5 年度実践事例で大賞を受賞しました。

◆**具体的な活動**

東小学校、白川小学校が担当校区であり、それぞれの地域で毎月 1 回開催される健康福祉セーフティネット会議。コロナ禍ではあったが、感染症対策を十分に行い予定通り開催した。

・**健康福祉セーフティネット（いきいきネット）会議開催状況**

（開催回数）

東小学校区：12 回      白川小学校区：11 回

\* 8 月の白川地区はお盆期間中の為、当初より予定なし。

（参加人数）

東小学校区：延べ 241 名      白川小学校区：延べ 356 名

・**電話、訪問、来所等による相談件数**

・**月別相談件数（延べ）**

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	22	27	28	25	22	24	19	23	22	27	16	25	280

・**相談対象者内訳（延べ）**

高齢者	障害者	子育て世代	その他	計
253	12	5	10	280

◆**茨木地区協力雇用主会の取り組みへの参画**

庄栄エルダーセンターでの月 1 回の車椅子等の清掃を行う「社会奉仕活動」で、毎回 2～3 名の院生が一生懸命に活動し、利用者様から「ありがとう」の賛辞が送られ、院生が大変喜ぶ光景が毎回あり、彼らの更生へのきっかけになればと願っている。

また院生全体に向けてや出院間近の出院準備生に対して、将来ビジョンについて講義するため定期的に講師として出向いている。

#### ◆茨木市CSW協議会としての取り組み

次世代の福祉の担い手づくりと題して、市民や関係機関など約 180 名がオンラインにて参加して福祉活動交流会を開催した。

また市が計画している「重層的包括支援体制づくり」にもCSWとしてどのように関わっていけるかを協議会内で協議検討してその具現化に向けて取り組んでいる。

#### ◆社会貢献（レスキュー）事業

今年度は以下の3件の該当ケースがあった。

- ・家賃滞納で強制退居をせざるを得ない方への住居確保及び生活必需品等の購入等。（2件）
- ・夫からの身体的DV被害者の転居に伴う初期費用等の支援。

#### ◆住宅確保要配慮者居住支援事業

令和6年3月末日までの相談件数は、8件。

うち住宅確保までに至ったのが3件。

以上



## 2023年度ホームヘルプステーション 事業報告書

※2023年度 実績目標時間数 総時間数 1,900時間

(内訳介護保険1,500時間・障がいサービス300時間 子育て支援50時間 保険外サービス 50時間)

総時間数 目標時間1900時間 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1,383	1,484	1,411	1,324	1,356	1,373	1,368	1,406	1,428	1,273	1,308	1,368	16,483
目標比	73%	78%	74%	70%	71%	72%	72%	74%	75%	67%	69%	72%	72%
前年比	100%	104%	101%	94%	96%	94%	99%	96%	96%	99%	104%	99%	99%

《内訳》

介護保険 目標時間1500時間 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	1,139	1,236	1,160	1,115	1,116	1,125	1,146	1,159	1,173	1,073	1,090	1,146	13,678
目標比	76%	82%	77%	74%	74%	75%	76%	77%	78%	72%	73%	76%	76%
前年比	97%	103%	100%	94%	95%	93%	99%	96%	95%	102%	107%	99%	98%

### ※主要報告事項

登録ヘルパーが退職後、シフトを組むことが難しくなり、他部署の協力を得たりサービス提供責任者で補充する事態となりました。

実績を上げる為には、初任者研修取得以上のヘルパー補充をして行くことが課題となります。

利用者の傾向として、重篤になった場合は、施設入所だったが、軽い介護度でも施設を検討される利用者が増えてきています。

障害居宅サービス・移動支援 目標300時間 (時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害(全)	215	205	208	184	212	204	174	206	196	157	178	174	2,311
目標比	72%	68%	69%	61%	71%	68%	58%	69%	65%	52%	59%	58%	64%
昨年対比	124%	108%	99%	89%	106%	98%	91%	97%	92%	85%	92%	91%	98%

### ○障害居宅サービス・移動支援

※利用者からのハラスメントがありました、危険な車いす移動を指示

(車椅子を押して走る、ブレーキ拒否など) 指示を聞かないとヘルパーに公衆の面前で罵倒するなどが何度もあった為、事務所より危険な行為とハラスメントの説明をしましたら利用者から依頼が断られるという事がありました。

新規利用者も1名増えましたが100%を超える事ができませんでした。

※9月21日 茨木市指導監査課からの障害サービスの实地指導があり

「改善必要事項不要」の結果でした。今後も継続して適正な事業所運営を行っていきます。

### 子育て支援

目標50時間

(時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子育て	4	6	5	4	4	4	3	9	14	12	13	13	88
目標比	7%	13%	10%	8%	8%	8%	5%	17%	27%	25%	25%	25%	15%
昨年対比	44%	61%	44%	47%	41%	31%	20%	61%	135%	88%	333%	333%	103%

○茨木市より依頼があれば対応しています。 1～2名の利用があります。

### 保険外サービス(アシスタント)

目標50時間

(時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総時間	25	37	39	21	25	41	36	34	46	31	27	36	396
目標比	49%	75%	78%	42%	49%	81%	72%	67%	92%	62%	54%	72%	66%
昨年対比	120%	99%	177%	156%	90%	137%	120%	128%	153%	91%	64%	120%	121%

○保険外サービス

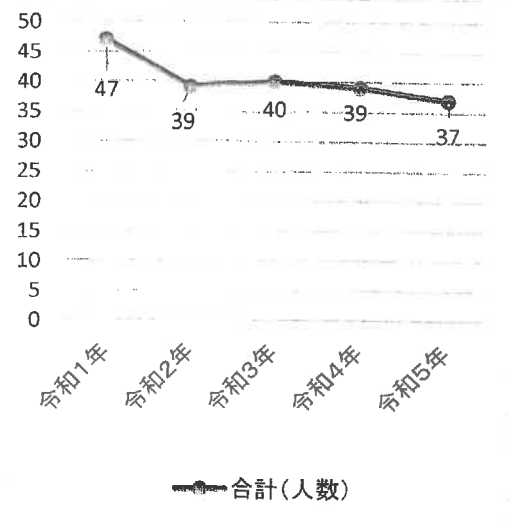
ショートステイや入所の利用者様の通院の利用が多い事、  
生活援助の固定の利用者様が安定して利用していることで前年度を上回る事ができました。

### 【求人活動の強化】

○訪問介護のヘルパーの減少の危機

(人)

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
登録ヘルパー	36	29	30	29	25
訪問型A従事者	4	3	2	2	3
訪問介護員職員	2	2	2	2	2
サービス提供責任者	5	5	6	6	7
合計(人数)	47	39	40	39	37



※登録ヘルパー(初任者研修取得者以上)

が増えませんでした。訪問型サービスA従事者が2名  
増えています。

訪問型サービスA従事者3名登録されていますが  
そのうち1名が、令和6年6月に初任者研修取得予定です

・茨木市主催の訪問型サービスAの研修会のフォローアップ研修に  
令和5年11月10日 杉浦、小林に講師派遣依頼があり講演してきました。  
今後も微力ですが、この活動を行い、訪問型サービスA従事を獲得し、  
初任者研修取得するように導く体制を行います。

・高槻エルダーヘルパーステーションとの連携

高槻エルダーヘルパーステーションと、登録ヘルパーの条件が同じである事でヘルパーを共有する体制を整えています。

### 災害時等の対策

○災害時など固定電話などの通信ができない場合を想定しての対策で

・サービス提供責任者、ヘルパー職員、登録ヘルパーは、携帯電話、メール、ラインワークスと三つの連絡網を作成しました。

そのうち、ラインワークスで「災害時情報」を作り 災害(地震など..)の緊急事態が起きた時、活動しているヘルパーが

近くの場所の交通事情や、倒壊している場所危険な場所などを写真に撮りアップ全員が閲覧できる場所をつくり、操作方法などを全員で練習しています。

### 【ヘルパー勉強会の充実】 \*考えて行動できるヘルパー育成

★勉強会内部研修内容 職員、登録ヘルパー全員

月	内容
4月	認知症の人へ声かけ&接し方のテクニック(人権 接遇)
5月	生活援助(買物支援について学ぼう)
6月	人権(高齢者障害者に対する人権侵害をなくそう)
7月	緊急時対策・心肺蘇生と実技(西河原分署)
8月	感染予防「食中毒予防」 +BCP(感染予防対策 手洗い訓練)
9月	BCP緊急災害マニュアルについて +机上訓練(感染症)
10月	車いす介助(ベッドから車いす⇒移動)
11月	利用者、家族からのハラスメント
12月	生活援助とは?(生活援助の意味、ルール)
1月	訪問介護リスクマネジメント
2月	接遇 買物代行 グループワーク
3月	接遇 買物代行→発表と評価

○ 2月、3月と続けて同じ題材で研修を行いました。

買物での聞き取り方、利用者様との会話の方法などをロールプレイングを取り込み利用者役 ヘルパー役を決めて困難な依頼対応を想定し考え、実演する。

それらを、全員で評価する研修を行いヘルパーから、他のヘルパーがどのような応答しているのか、見る事が出来て良かった。

購入できない商品がたくさんある事、どのような基準があるのかを学べたと好評でした。研修会もマンネリにならないように工夫していきます。

以上

## 令和5年度ケアプランセンター事業報告

### ○報告事項

- ・新型コロナ感染予防のため、引き続き各自ケアマネジャーは出勤前の検温・マスクの着用  
手指消毒・フェースシールドの着用を徹底することで、感染予防に努めることができ、  
安心して業務に就くことができた。
- ・令和5年度の新規プラン数 79件、他界・施設入所 56件、長期入院 7件とあった。  
プラン件数が減少した分、新規プラン数が上回ったことが今期の稼働率アップに繋がった。  
また、各ケアマネジャーひとり一人が収入アップ・稼働率アップを目指すために認定調査の  
件数増加の意識が強く、例年のない件数の実績があった。

紹介依頼は直接の家族からの依頼も多かったが、特に医療機関や老人保健施設からの  
紹介依頼も多かった

茨木市 398件・市外府外 79件の合計 477件であった。

今期のエルダーケアプランセンターは6名のケアマネジャーが全員同じ目標に向かっての意識が  
強く6名一致団結で動くことができたことが今年度の成果に繋がった。

### ○ケアマネ活動報告

- ・週1回のケアマネ会議の開催（毎週火曜日 11時～12時）

#### (内部研修)

- ・毎月1回ケアマネ会議終了後

4月	接遇について	10月	高齢者虐待防止
5月	認知症と認知ケアについて	11月	緊急時の対応
6月	ケアマネジメントのプロセス	12月	ハラスメント対策
7月	感染症・食中毒の予防蔓延防止	1月	人権学習
8月	倫理と法令遵守	2月	総合事業について
9月	業務継続計画	3月	介護保険改正について

#### (外部研修)

5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他法人合同事例検討会・研修会</li> <li>・地域ケア会議（三島・庄栄地区）</li> <li>・地域ケア会議（東・白川地区）</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメント研修会（1回）</li> <li>・地域ケア会議（東・白川地区）</li> <li>・地域ケア会議（太田・西河原地区）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議（三島・庄栄地区）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議（三島・庄栄地区）</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメント研修会（2回）</li> <li>・地域ケア会議（東白川地区）</li> <li>・障がい福祉と介護保険の連携研修会</li> <li>・地域ケア会議（三島・庄栄地区）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメント研修会（第3回）</li> <li>・地域ケア会議（三島・庄栄地区）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援・重度化防止に係る研修会（第1回）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議（東・白川地区）</li> <li>・地域ケア会議（太田・西河原地区）</li> </ul>
12月	・ケアマネジメント研修会（3回）
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨木市高齢者サービス事業所連絡会 研修</li> <li>・第2回ケアプラン研修会</li> </ul>
2月	・医療（精神・認知症）と介護の連携研修会
3月	・自立支援・重度化防止に係る研修

※新型コロナ感染拡大予防にて今年度の外部研修は全てオンライン研修

#### ○実績報告

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ケアプラン数	194	200	199	195	195	191
予防プラン数	61	59	58	54	55	55
認定調査件数	33	29	41	39	41	44
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ケアプラン数	198	199	204	202	209	206
予防プラン数	56	58	56	56	52	53
認定調査件数	50	38	46	43	41	32

ケアプラン数 月平均 199件

予防プラン数 月平均 56件

認定調査件数 月平均 39件

#### ○相談件数実数

- ・新規プラン数 79件

#### ○サービス担当者開催件数

- ・延べ 416件
- 医師との連携 57件

介護保険更新申請時・区分変更時・介護サービスが増えたとき・減ったときに

サービス担当者会議を開催する。利用者は日々状態が変化しており、プランの変更が必要さも増えているため必要に応じて、利用者を中心に関係者が意見を出し合う場を設定していく。

#### ○戦略会議

- ・第1回 7月21日
- ・第2回 10月20日
- ・第3回 1月19日
- ・第4回 3月15日

## <令和5年度 三島・庄栄地域包括支援センター 事業報告書>

令和3年4月より東保健福祉センター内に開設され3年。新型コロナウイルスの影響は落ち着いたものの、その時期に高齢者の方が外出を控えていたことで筋力低下が進行。それだけが理由ではないが、本年度は要支援から要介護に悪化する方が前年度より増加。これ以上の筋力の低下防止、向上を目指して、茨木市独自サービスのリハビリ専門職同行訪問や短期集中リハビリトレーニング等を積極的に利用し、運動習慣を持ってもらえるように本年度も努めた。それに、地域の整形外科の医師、薬剤師と連携し、「転んでも骨折しない体づくり」と題して講座をおこなって頂いた。

### 2. 総合相談 介護保険未申請及び認定があってもサービス利用にむすびついていない方の相談

☆ 関係機関（ケアマネ、医療機関、CSW、民生委員、行政等）... 延べ1025件

⇒前年度より、17件増加。

☆ 住民（本人、家族、知人等）... 延べ1331件

⇒前年度より、130件増加。

☆ その他（NPO、障害、民間サービス等）... 延べ139件

⇒前年度より、51件増加。

- 前年度より、全体で延べ198件増加し、新規相談者は66名増加。生活上の相談（電球が切れた等の公的サービスでは対応できないもの、近隣問題等）が増加した。

### 3. 権利擁護事業

☆ 成年後見制度... 延べ24件⇒前年度より、18件増加。

☆ 消費者被害... 延べ0件⇒前年度より、3件減少。

☆ 虐待... 1人【身体的1件、介護放棄0件、経済的0件、心理的1件】※重複あり  
サービス量を増やし（毎日デイとヘルパーを導入）、虐待対応終了。

⇒前年度より、3人減少。

- 虐待相談が、年々減少。今後、周知・啓発を関係機関に早急に行う。

### 4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

☆ ケアマネに対する個別指導・相談... 308回⇒前年度より、1件増加。

- 開設3年となり気軽に電話相談してもらえる関係ができてきているが、ケアマネの高齢化や業務量の負担などで退職者が増加したにもかかわらずケアマネの成り手が少ないことから、ケアマネ不足となり、迅速な支援ができない時があった。

☆ 関係機関との連携づくり※... 194回⇒前年度より、16件減少。

※関係機関との会議や連絡会、セーフティネット会議（庄栄地区、三島地区）、小規模多機能施設運営推進会議（グループホーム末広、デイサービス八重。

ばるの家、エルダーデイサービスセンター、デイ100は開催なし。)

☆ 支援困難ケース※... 新規7人⇒前年度より、3人減少。

※本人や家族に障害（精神、知的）、虐待、問題行動を伴う認知症状等の9項目に分類。

対応（電話や訪問、ケースカンファレンス等）は、107回。⇒前年度より、2回増加。

- 本年度は対応人数は減少したものの、1人に対応する回数は増え他職種や他機関で協働して支援する必要があるケースが多かった。

〈地区福祉委員会事業〉

☆サロン、給食会等【三島小学校区、庄栄小学校区】

42回（血压測定、個別相談 延べ391名）

●前年度より、13回参加が増加し、血压測定、個別相談189名増加した。

5. 地域ケア会議

【自立支援型地域ケア会議、モニタリング】

日にち	時間	場所	内容（事例）	参加人数
5月25日	14:00～15:10	東保健福祉センター	①歩行能力の低下を自他共に認める女性②幼少期に小児麻痺を患い右下肢に軽度の麻痺が残る男性	①14 ②15
6月22日	14:00～15:10	東保健福祉センター	③エレベーターのない集合住宅に居住する屈む動作に困難のある女性④活動意欲の低下がある女性	③16 ④16
9月28日	14:00～14:45	東保健福祉センター	事例①②モニタリング	①12 ②13
10月26日	14:00～15:10	東保健福祉センター	事例③④モニタリング	③15 ④15

【複合型地域ケア会議】

8月31日	14:00～15:00	東保健福祉センター	⑤40代で脳梗塞を発症し、高次機能障害と左片麻痺のある男性	⑤16
-------	-------------	-----------	-------------------------------	-----

【東圏域合同地域ケア会議】

1月15日	13:30～15:30	東コミュニティーセンター	⑥認知症の方を地域で支えるためにできること	⑥23
-------	-------------	--------------	-----------------------	-----

6. その他

① 〈会議〉

- ・ 茨木市地域包括支援センター運営協議会（2回）
- ・ 茨木市地域包括支援センター連絡会（毎月：内10ヶ月Zoom会議）
- ・ 茨木市総合事業連絡会（毎月：内10ヶ月Zoom会議）
- ・ 茨木市認知症地域連携連絡協議会（1回）
- ・ レビュー会議【虐待評価】（3回）
- ・ 茨木市地域包括支援センター主任介護支援専門員連絡会（22回）
- ・ 茨木市地域包括支援センター医療職連絡会（毎月）
- ・ 茨木市地域包括支援センター社会福祉士連絡会（7回）
- ・ 茨木市認知症地域支援員との連携会議（2回）
- ・ 茨木市立総持寺いのち・愛・ゆめセンター支援方策会議（2回）
- ・ 茨木市障害者・高齢者虐待防止ネットワーク協議会（1回）
- ・ 東保健福祉センター連絡会（17回）
- ・ 東圏域連携会議（3回）
- ・ 東圏域防災会議（3回）
- ・ 福祉活動交流会（1回）
- ・ 相談機能強化事業連携会議（4回）

〈研修会開催等〉

- ・まほろばカフェ勉強会「知って得する 認知症の人の思いと対応について～具体的事例をもとに～」  
(9月15日：18名参加)
- ・東圏域合同ケアマネ研修会「知っていますか？障害サービスと介護サービスの違い」  
(9月12日：20名参加)
- ・みしま・らくらく亭勉強会「介護保険制度について」 (9月13日：30名参加)
- ・東圏域合同社会福祉士研修会「権利擁護研修～茨木市における虐待対応～」  
(10月27日：21名参加)
- ・東圏域合同ケアマネ研修会「医療（精神・認知症）と介護のスムーズな連携」  
(2月26日：15名参加)

〈周知・啓発等〉

- ・ウインターフェスティバル (12月17日：267名参加)
- ・調剤薬局、コンビニ、郵便局、総持寺クリニックビルへの訪問 (年1回)

〈実習生〉

なし

人員 (令和6年3月末現在) ※1

センター長(社会福祉士兼務)	1名
看護師	1名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	1名
介護支援専門員	2名

※1 令和6年1月10日 介護支援専門員1名入職  
令和6年5月15日 介護支援専門員1名退職

一人平均20件制限のため、20件×4人＝80件/月を目標とした。

①総合事業（ヘルパー、デイのみ利用の方）

☆包括独自プラン. . . 307件/年 (内新規15件)  
⇒前年度より、5件増加 (内新規3件増加)

☆委託プラン. . . . . 600件/年 (内新規16件)  
⇒前年度より、53件減少 (内新規6件減少)

②予防給付（福祉用具レンタル、訪問看護、デイケアを単独利用若しくは総合事業と併用利用の方）

☆包括独自プラン. . . 598件/年 (内新規7件)  
⇒前年度より、48件増加 (内新規12件減少)

☆委託プラン. . . . . 1023件/年 (内新規32件)  
⇒前年度より、7件増 (内新規8件増)

●前年度より全体プラン数(包括独自、委託を合わせた)は7件の増加で横ばい傾向。そして、前年度と同様に総合事業（ヘルパー、デイのみ）の方は、(48件)減少し、予防給付は(55件)増加。福祉用具貸与（歩行器、ベッド横手摺等）を希望される方が多いことが、予防給付が増加した原因と考えられる。



## 〈 太田・西河原 地域包括支援センター 〉 令和5年度 年間事業報告

### ○概要

- ・ 太田・西河原エリアにおいて、令和3年4月より地域で暮らす高齢者の心身の健康保持や福祉の増進等のために様々な活動に取り組んでいます。  
『太田・西河原レター』というオリジナル広報誌を年2回、1600部発行いたしました。地域の自治会長、自治会の回覧板や掲示板にて周知するとともに、民生委員の高齢者訪問時にも活用いただくことができました。  
今後も定期的に発行し、包括の周知・啓発に努めてまいります。
- ・ アウトリーチ活動にも力を入れ、80歳以上の介護保険未申請の高齢者76名に訪問を行い、支援の必要性をアセスメントするとともに、包括の周知も行いました。  
次年度も同様の活動を推進してまいります。
- ・ 地域ケア会議は、年間6回開催することができました。そのうち、1回は複合課題世帯の事例を取り上げ、専門職の方よりさまざまな助言をいただくことが出来ました。これらの会議では、多角的な視点を持ち高齢者の自立に向けた支援を行うと共に、地域の課題解決に向けた関係機関との連携を深めることができています。  
今後も、関係機関とのネットワークを強化しつつ、地域に密着した相談窓口としての周知を継続して、包括的な支援を行ってまいります。

### ○5つの目標に対して

1. 太田・西河原地域包括支援センター独自の広報誌（太田・西河原レターNo.5、No.6）を2回発行することができました。1600部作成し、太田地区の自治会長に個別に持参、24自治会の回覧板にて周知することができました、西河原地区は掲示板19か所に掲示して頂く事ができました。
2. 新入職員も研修や指導を受け、相談業務対応、業務の引継ぎ、プラン作成のスキルをつける事ができ、順調に人材育成できております。
3. 4人体制での運営ですが、当日の訪問相談にも対応するなど、信頼される機関となるよう職員一丸となり努めております。
4. コロナ感染症対策については5類移行後も、マスクの着用など高齢者の相談窓口であることを意識しての対応に努めました。
5. 災害時の対応については、東圏域の防災会議やセーフティ会議に参加して、関係機関との情報交換など連携を強化しました。

## ○活動報告

### 1. 総合支援事業に関するケアマネジメント業務

- ①訪問型サービス、通所型サービス、短期集中サービス等の特徴などの理解を深め、特に、新規の方には訪問型サービス A のサービスを推進しました。
- ②新しい総合事業のサービスに関しての研修会にも随時参加し、サービス内容の理解を深め、利用者へ提案しております。

### 2. 予防給付に関するケアマネジメント業務

- ①要支援認定者に対して、適切なアセスメントに基づき、プラン作成いたしました。包括担当の新規プランについては、昨年度より微増ではありますが令和 5 年 3 月度 7 2 件から令和 6 年 3 月度 7 6 件まで増やすことができました。引き続き、目標の 8 0 件を目指し、努めてまいります。  
また、委託先の居宅介護支援事業所への助言・指導も随時実施しております。
- ②要支援から要介護となった利用者様（今年度は 3 9 名）に対して、居宅介護支援事業所に迅速に繋ぎ、スムーズに移行しました。

### 3. 総合相談・支援事業

- ①今年度は 2 8 2 7 件の電話や来所等による相談に対応し、的確な情報提供や、訪問・支援を行いました。相談の経路については、クリニックや病院など医療機関からの相談が増加傾向となりました。
- ②地域住民の困りごとや本来支援が必要な方に支援が届いているか、というアウトリーチの必要性を考え、8 0 歳以上の高齢者 7 6 名に対して、個別訪問を実施しました。
- ③茨木市内の全包括、行政、関係機関・隣接する病院や事業所との連携・情報交換も密に行うことができました。
- ④地域のサロン・カフェに参加して、高齢者の実態把握・顔の見える関係作りを継続し、住民活動の支援も行っていきます。
- ⑤東保健福祉センターとの連携は、毎月の会議にて情報共有や連携した対応ができており、今後も連携を強化していきます。

### 4. 権利擁護事業

- ①虐待等のケースに対して、包括三職種で情報共有し、安全を迅速に確認するとともに、相談支援課やサービス事業所とも連携し、支援を行うことができました。  
(定期的にモニタリング実施)
- ②消費者被害防止のため、地域住民が集まる場で周知・啓発や注意喚起を行いました。

## 5. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ①居宅介護支援専門員が抱える困難事例等に対し、随時、指導・助言もしくは連携を行いました。
- ②圏域のケアマネジャー対象に研修会を2回実施。総合事業について理解を深め、地域の社会資源の紹介をすることで、自立支援の視点を再確認できました。また、医療機関の相談員を招き、医療と介護のスムーズな連携について顔の見える関係作りを支援することができました。
- ③近隣のクリニックと顔の見える関係作りはできており、医師から直接相談を受けることもありました。また、入退院時には相談員との連携を密に行い、利用者の在宅生活を支援しました。

## 6. 地域ケア会議の実施

- ①令和5年度、地域ケア会議を6回実施することができました。  
自立支援型4回、複合課題事例1回、地域課題の検討（3包括合同）1回 計6回
- ②コロナ感染症5類移行後、ケアマネジャーの傍聴も再開して会議を開催しました。

## 7. その他

- ①包括主催の認知症サポーター養成講座は、地域住民や関係機関からも高い評価をいただく事が出来ました。
- ②個人人情報の保護・管理を徹底して行っております。
- ③夜間・休日等も転送電話により24時間体制で対応しました。  
(月30件程度 転送電話対応しています)

★セーフティネット会議 (今年度実績)

- ・太田セーフティネット会議 (3回)
- ・西河原セーフティネット会議 (6回)

★給食会・サロン・老人会

- ・太田地区福祉委員会・・・①いきいきサロン (健康相談・血圧測定) 年1回 休止
- ②単身高齢者みまもり事業 年1回
- ③おちゃべりサロン 年2回程度 休止
- ④東太田アーデル自治会(体操の会) 年4回程度 休止
- ・西河原地区福祉委員会・・・①サニーサロン 毎月1回木曜日 8回開催
- ②やまびこの会 毎月1回火曜日 9回開催
- ③ティーサロン 毎月1回月曜日 8回開催
- ④こだま会 毎月1回水曜日 10回開催

★会議等

(今年度実績)

- ・地域包括支援センター運営協議会 (2回)
- ・地域包括支援センター連絡会 (オンライン含む) 毎月第3水曜日 (9回)
- ・介護予防・日常生活支援総合事業連絡会 (同上) 毎月第3水曜日 (11回)
- ・主任ケアマネ会議 (同上) 毎月第3金曜日 (11回)
- ・医療職会議 (同上) 毎月第4火曜日 (11回)
- ・社会福祉士会議 毎月第2火曜日 (7回)
- ・高齢者虐待レビュー会議 (全体の評価・振り返り) (3回)
- ・太田・西河原エリア連絡会 (12回)
- ・茨木ケアセンターラガー運営協議会 (6回)
- ・みさき花園グループホーム運営協議会 (5回)

★今年度 ケアプラン数

- ・自己プラン 目標 80件 (20件×4人) / 月 に対して  
→令和6年3月 は 76件 (達成率95%)

\*相談内容に応じ、自己プランにスムーズにつなげるよう努めています。

## 〈 東・白川 地域包括支援センター 〉 令和5年度 事業報告

### ○概要

東・白川地域包括支援センターでは、地域の方との顔の見える関係づくりやネットワークの構築、居場所づくりに努めてきました。

東地区では「ささえあいミーティング」のネットワークができ、高槻の包括支援センターや UR 千里住まいセンター、追手門大学とも連携しています。白川地区では白川コープつながるミーティングができ、定期イベントに協力しました。新堂地区ではぷらっとホームが開設し、定期参加しています。

高齢化により相談は増加しています。介護保険や福祉サービス等の案内や代行申請、安否確認や救急搬送などの緊急対応を行っています。複合課題を抱えるケースが増え、市や他機関とも連携しながら支援に努めています。

### ○5つの目標に対して

1. コロナ感染対策を講じ、感染拡大なく業務が遂行できました。
2. 災害時、感染症蔓延時のBCPを作成し、机上訓練を行いました。
3. 総持寺団地の地域カフェやガーデニングイベントに関係機関と参加協力しました。白川コープイベントや新堂ぷらっとホームなど、新しい地域資源にも参加協力しました。
4. 後期からは5人体制となりました。専門職の特性を生かして、迅速、適切な対応を行う事ができました。新職員も専門性が生かせるよう育成に努めております。
5. 個人の目標に合わせて積極的に研修会に参加しています。受講した研修内容は、スタッフで共有し、スキルアップに努めています。

### ○活動報告

#### 1. 総合支援事業に関するケアマネジメント業務

①短期集中リハビリトレーニングやリハ職同行訪問を積極的に活用しています。

また、栄養士同行訪問の活用も検討し、介護予防や啓発に努めています。

②新たな啓発の場として、今年度新設された新堂地区ぷらっとホーム、総持寺団地だんカフェでも、定期的な相談・血圧測定会を開催しました。毎月10か所以上の地域活動に参加しています。

#### 2. 予防給付に関するケアマネジメント業務

①要支援認定者に対して、プラン作成を行い、地域で自立した生活が送れるよう支援しました。委託先の居宅介護支援事業所への助言・指導も実施しました。

②新規申請から要介護認定の方65名（昨年度52名）、要支援から要介護となった利用者様56名（昨年度39名）に対して、居宅介護支援事業所に迅速に引継ぎ、介

護保険サービスの利用継続とケアマネジャーの後方支援に努めました。

### 3. 総合相談・支援事業

- ①R5年度延べ4323件（昨年度2127件）の相談（電話、訪問、来所）に対し、自宅訪問を中心とした支援を行いました。うち692件（昨年度327件）が困難ケース対応でした。
- ②東圏域連携会議、東・白川エリア会議、セーフティネット会議等での情報共有だけでなく、複合課題事例ではアウトリーチ支援員にも介入していただき、経済的課題や8050問題を抱える世帯の支援など、他機関で連携して支援にあたることで、スムーズな対応を図る事ができました。
- ③④精神科病院とケアマネの連携強化研修を開催し、茨木市内の関係機関だけでなく、隣接する高槻市の病院とも連携しました。その他、高槻市を含めた近隣の薬局、コンビニ、店舗へ訪問し、包括の啓発に努めました。
- ⑤総持寺団地では、「ささえあいミーティング」のネットワークができ、関係機関以外にも、高槻の包括支援センターやUR千里住まいセンター、追手門大学を中心に連携しています。今年度は大学生のワーキングカフェやURガーデニングイベントを開催し、連携することができました。  
白川地区では コープ「つながるミーティング」と定期イベントに参加し、関係機関とのネットワークを構築中です。

### 4. 権利擁護事業

- ①②虐待相談対応数延べ201件（ケース対応数7件）に対して、包括三職種で情報共有し、迅速に安全確認するとともに、福祉総合相談課やケアマネジャー、サービス事業所とも連携して支援することができました。
- ③プリペイドカード詐欺の相談をきっかけに周辺のコンビニ、スーパーを訪問し、状況の聞き取りと包括の啓発を行い、地域住民への情報提供を行いました。その他のケースについても、警察や消費生活センターとも連携し、セーフティネット会議や民生定例会等にて地域住民への情報提供、啓発に努めました。
- ④成年後見制度の利用が必要と思われる利用者、家族に対して概要説明し、リーガルサポートの紹介や必要時には申し立て支援を行っています。

### 5. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ①ケアマネが抱える困難事例等に対し、随時、助言や同行訪問を行いました。  
ケアマネの困難事例を挙げて複合型地域ケア会議や地域課題検討型会議の開催を行いました。
- ②③今年度は圏域での研修を開催。  
第1回は「障害サービスと介護保険サービスの違い」ケアマネジャーと障害相談支援事業所との連携を図り、第2回は「精神科専門病院とケアマネジャーの連携強化を目標にグループワークにて交流を図りました。

## 6. 地域ケア会議の実施

- ①自立支援型3回、複合課題型1回、地域課題検討型1回の計5回を開催しました。
- ②1月には東圏域合同にて地域課題検討型会議を開催しました。

## 7. その他

- ①個人情報の保護・管理を徹底して行いました。
- ②夜間・休日等も転送電話により24時間体制で対応しました。

### ★セーフティネット会議 (年間実績)

- ・東セーフティネット会議 (12回)
- ・白川セーフティネット会議 (11回)
- ・民生定例会 (8回)
- ・総持寺ささえあいミーティング (5回)
- ・白川コープつながるミーティング (11回)

### ★給食会・サロン・老人会等

- ・白川地区福祉委員会・・・つどい白川 (4回)
- ・東地区福祉委員会・・・いきいきサロン (4回)
- ・街角デイハウス「コアな仲間」 (7回)

### ★地域相談会

- ・東コミュニティセンター いこいこ亭相談会 (12回)
- ・白川高層住宅集会所 いこい亭相談会 (12回)
- ・白川公民館 カフェしらかわ (6回)
- ・鮎川3丁目集会所 カフェあゆみ (6回)
- ・総持寺団地集会所 よりそいカフェ (3回)
- ・新堂西自治会集会所 だんカフェ (2回)
- ・新堂西自治会集会所 新堂カフェ (6回)
- ・新堂西自治会集会所 カフェひまわり畑 (6回)

### ★会議等

- ・地域包括支援センター運営協議会 (2回)
- ・地域包括支援センター連絡会 毎月第3水曜日 (10回)
- ・介護予防・日常生活支援総合事業連絡会 毎月第3水曜日 (11回)
- ・主任ケアマネ会議 毎月第3金曜日 (13回)
- ・医療職会議 毎月第4火曜日 (9回)

- ・ 社会福祉士会議 不定期第2火曜日 (4回)
- ・ 高齢者虐待レビュー会議 (全体の評価・振り返り) (3回)
- ・ 東・白川エリア会議 毎月不定期 (8回)
- ・ 東圏域連携会議 (4回)
- ・ 三島圏域リハビリ連絡会・包括部会 不定期 (5回)

★講話、イベント等

- ・ 総持寺団地イベント・・・ ガーデニングイベント (2回)
- ・ 白川コープ「地域をつなGO」イベント・・・ コープ白川店 (8回)

◎売上報告

- ・ 自己プラン 目標 月：80件 (20件×4人) に対して  
→平均 72.3件/月 (達成率 90.4%)

令和5年度 売り上げ実績(予防+総合)	総合計
プラン数	868
①介護予防プラン料	4,067,448
内新規プラン数	40
②初回加算	128,400
介護予防プラン料総額(①+②)	4,195,848



## 茨木市福井多世代交流センター

### 令和5年度 事業報告

茨木市福井多世代交流センターは、高齢者に加えて18歳以下の子どもが利用できる施設として多世代にわたる多くの方々にご利用いただいております。5月8日以降に新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ変更となりましたが、引き続き感染拡大予防対策を継続しながら事業を実施しました。センター利用者数や団体の貸部屋事業は、昨年度に比べ少しずつ増加傾向にあります。

職員配置としましては、事務所に常時2人以上（午後5時～6時まで1人勤務）の職員と送迎車の運行に1人の職員で実施しました。日常は、マスク着用（自己判断）・手指消毒・検温・換気などを徹底して管理、運営を行いました。

#### (1) 施設の利用人数について

利用者総数につきましては14,398人、1か月の平均利用者数は1,200人で前年度の1.1倍となり、利用者数が1,483人増加しました。なお、中学・高校生が学習室を利用した人数は347人でした。また、送迎車の利用者数は2,369人で前年度の1.2倍となり432人増加しました。

#### (2) 施設の利用状況について

利用状況につきましては、同好会や趣味の団体による曜日を決めての活動、また、日常的にはマッサージ機やヘルストロン、囲碁・将棋、バンパー、卓球、健康麻雀を利用され、高齢者の活発な活動・交流・健康維持の場として活用されています。

同好会や団体の活動としましては、「グラウンドゴルフ」「囲碁・将棋」「カラオケ」「民謡」の各種同好会が、趣味の団体としては「カラオケ」「民謡」「踊り」「オカリナ」「琴」などがあり、定期的な活動をされていました。

子どもの利用に関しましては、中学生と高校生が自習のために利用する場として「学習室」を運営しており、「学習支援アドバイザー」を月1回2時間ではありますが配置して、学生の学習支援を行いました。

さらに、学習時間を拡大してセンターの利用促進を図るため、夏休み及び冬休みの一定期間に午後9時まで利用ができるように夜間の時間延長に取り組みました。

#### (3) 介護予防教室などの自主事業について

介護予防教室につきましては、利用者間の健康保持や交流などを目的として定期的実施しており、その内容といたしましては「介護予防リズム体操」1回/月、「元気いばらき体操」1回/月を延24回実施し、利用者数は1,073人（45人/回）でした。

高齢者向け事業といたしましては、柔らかい紐などの用具も活用しながら、身体の部分全体を軽快な音楽に乗って動かすなどの「高齢者向けリズム体操」2回/月、作業療法士による「健康リハビリ体操」1回/月を延36回実施し、利用者数は1,499人（42人/回）でした。また、カラオケ広場及びカラオケナイトを実施し、利用者数は742人（31人/回）でした。

教養講座につきましては、腸内環境の改善をテーマにした血管年齢測定なども交えた「ヤクルト健康クイズ&ラリー」を5回、「フレイル予防」や「相続」などをテーマにした「明治安田健康講座」を5回実施するとともに、「茨木市立北中学校吹奏楽部演奏会」を1回開催、シニアプラザの出張講座としてニュースポーツ（スローイングビンゴや輪投げ・ボッチャ）の利用者数は218人（55人/回）でした。

「歌祭り及び収穫祭・味覚祭り」（納涼大会・多世代フェスティバル）の利用者数は368人（184人/回）でした。

映画会につきましては、懐かしい映画などの作品を月2回上映して、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。利用者数は304人（13人/回）でした。

また、防災訓練として、AED操作・心肺蘇生法訓練、大阪880万人訓練、避難・通報・消火各訓練と防災対策講話としてDVDを視聴し能登地震の体験談を聞き、センターの避難経路を再確認しました。

利用者数は63人（16人/回）でした。安全講習会については、交通安全教室と特殊詐欺講習会を実施しました。利用者数は21人（11人/回）でした。

<部屋利用料及び附帯設備利用料の収入金額>

	部屋利用料	附帯設備利用料	合 計
4月	58,580 円	32,000 円	90,580 円
5月	52,220 円	33,600 円	85,820 円
6月	49,260 円	31,200 円	80,460 円
7月	35,120 円	34,000 円	69,120 円
8月	44,680 円	22,800 円	67,480 円
9月	40,240 円	29,000 円	69,240 円
10月	55,680 円	29,500 円	85,180 円
11月	44,020 円	29,400 円	73,420 円
12月	43,780 円	22,300 円	66,080 円
1月	39,640 円	17,400 円	57,040 円
2月	47,280 円	22,400 円	69,680 円
3月	47,840 円	25,300 円	73,140 円
合 計	558,340 円	328,900 円	887,240 円

<月別事業内容>

※( )内は参加人数

4月	5日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(52人)
	7日	高齢者向け事業「映画会」(9人)
	12日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(49人)
	15日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(7人)
		学習支援アドバイザー(0人)
	16日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(9人)
	19日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(34人)
	21日	高齢者向け事業「映画会」(12人)
	23日	絵本読み聞かせ教室(0人)
		親子で映画会(0人)
25日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(60人)	
26日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(42人)	
5月	10日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(47人)
	12日	高齢者向け事業「映画会」(10人)
	14日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(14人)
	17日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(37人)
	19日	高齢者向け事業「映画会」(12人)
	20日	明治安田生命教養講座(16)
		高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(14人)
	23日	学習支援アドバイザー(4人)
		高齢者向け事業「カラオケ広場」(52人)
	24日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(53人)
28日	絵本読み聞かせ教室(2人)	
31日	うたってあそぼう(2人)	
	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(44人)	
6月	2日	高齢者向け事業「映画会」(8人)
	7日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(52人)
	11日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(12人)
	14日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(47人)
	16日	高齢者向け事業「映画会」(4人)
	17日	ヤクルト教養講座(11人)
		高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(11人)
	21日	学習支援アドバイザー(2人)
		介護予防教室「元氣いばらき体操」(34人)
	25日	読み聞かせ教室(12人)
27日	うたってあそぼう(12人)	
	高齢者向け事業「カラオケ広場」(46人)	
7月	5日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(52人)
	7日	高齢者向け事業「映画会」(14人)
	9日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(14人)
	11日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(49人)
	12日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(58人)
	15日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(10人)

	19日	学習支援アドバイザー (0人) 介護予防教室「元氣いばらき体操」(38人)
	21日	AEDを使った心肺蘇生法 (14人) 明治安田生命教養講座 (14人)
	23日	高齢者向け事業「映画会」(12人) 読み聞かせ教室 (5人) うたってあそぼう (5人)
	26日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(54人)
	30日	納涼夏祭り大会 (176人)
8月	2日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(59人)
	4日	高齢者向け事業「映画会」(14人)
	9日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(51人)
	16日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(40人)
	18日	高齢者向け事業「映画会」(10人) ヤクルト教養講座 (11人)
	19日	学習支援アドバイザー (0人) 高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(14人)
	20日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(16人)
	22日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(54人)
	23日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(54人)
	23～25日	夜間学習室延長事業 (0人)
	27日	読み聞かせ教室 (12人) うたってあそぼう (12人)
9月	1日	高齢者向け事業「映画会」(8人) 大阪880万人訓練に伴う防災訓練 (20人)
	6日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(58人)
	8日	交通安全教室 (6人)
	10日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(13人)
	13日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(56人)
	15日	高齢者向け事業「映画会」(11人) 明治安田生命教養講座 (10人)
	16日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(13人) 学習支援アドバイザー (0人)
	18日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(57人)
	20日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(41人)
	24日	読み聞かせ教室 (1人) うたってあそぼう (3人)
	27日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(50人)
10月	4日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(53人)
	6日	高齢者向け事業「映画会」(10人)
	8日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(12人)
	11日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(50人)
	20日	高齢者向け事業「映画会」(16人)
	20日	教養講座「ヤクルト健康クイズ&ラリー」(12人)
	20日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(41人)
	21日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(11人)
	21日	学習支援アドバイザー (1人)
	21日	学習室夜間延長(0人)
	22日	読み聞かせ教室 (3人)
	22日	うたってあそぼう (3人)
	24日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(56人)
	27日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(50人)
	29日	教養講座「北中学校吹奏楽部演奏会」(72人)
11月	1日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(51人)
	8日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(59人)
	10日	高齢者向け事業「映画会」(10人)
	12日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(13人)
	15日	高齢者向け事業「大広間映画試写会」(27人)
	17日	高齢者向け事業「映画会」(11人)
	17日	明治安田生命教養講座(10人)
	18日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(11人)

		学習支援アドバイザー (0人) 学習室夜間延長(0人) 介護予防教室「介護予防リズム体操」(52人) 読み聞かせ教室 (3人) うたってあそぼう (10人) 28日 高齢者向け事業「カラオケ広場」(44人) 29日 介護予防教室「元氣いばらき体操」(41人) 避難訓練 (14人) 30日 教養講座「ニュースポーツ研修会」(15人) 介護予防教室「介護予防リズム体操」(48人)
12月	1日	高齢者向け事業「映画会」(10人)
	6日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(57人)
	10日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(11人)
	13日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(55人)
	15日	高齢者向け事業「映画会」(12人)
	16日	学習支援アドバイザー (0人) 学習室夜間延長(0人)
	20日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(17人)
	24日	読み聞かせ教室 (10人) うたってあそぼう (15人)
	27日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(44人)
1月	5日	高齢者向け事業「映画会」(13人)
	10日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(59人)
	14日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(14人)
	17日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(38人)
	19日	高齢者向け事業「映画会」(15人) 明治安田生命教養講座(9人)
	20日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(17人) 学習支援アドバイザー (2人)
	24日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(55人)
	26日	福多世代フェスティバル (192人)
	28日	読み聞かせ教室 (10人) うたってあそぼう (10人)
	30日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(53人)
	31日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(57人)
2月	2日	高齢者向け事業「映画会」(17人)
	4日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(10人)
	7日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(57人) ニュースポーツ体験会 (13人)
	14日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(59人)
	16日	高齢者向け事業「映画会」(13人) 教養講座「ヤクルト健康クイズ&ラリー」(13人)
	17日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(17人) 学習支援アドバイザー (2人)
	21日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(37人)
	25日	読み聞かせ教室 (10人) うたってあそぼう (10人)
	27日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(59人)
	28日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(50人)
3月	1日	高齢者向け事業「映画会」(12人)
	6日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(57人)
	10日	高齢者向け事業「カラオケナイト」(11人)
	13日	高齢者向け事業「高齢者向けリズム体操」(56人)
	15日	介護予防教室「元氣いばらき体操」(38人)
	15日	高齢者向け事業「映画会」(6人)
	16日	高齢者向け事業「健康リハビリ体操」(6人) 学習支援アドバイザー (0人)
	24日	読み聞かせ教室 (8人) うたってあそぼう (8人)
	26日	高齢者向け事業「カラオケ広場」(49人)
	27日	介護予防教室「介護予防リズム体操」(54人)

## 令和5年度 デイサービスセンター未来 事業報告

### 〔令和5年度事業報告事項〕

#### デイサービスセンター未来の運営事業に関する報告

- ・ 1年間 業績を落とすことなく事業を進めることが出来た。
  - ・ 営業は継続し、出来るだけ体験希望方の受け入れを行った。
  - ・ この間の未来のアピールは続けて行った。
  - ・ イベントは継続して行ったがイベントで臨時希望の方の受け入れを断らないといけない企画があった。
  - ・ 利用したいのに利用できない（臨時希望）といった状況に追い込まれている。
  - ・ 年末にコロナ利用者が6名出ましたが、収束も早かった為事業自体に影響が出ることはなかった。
  - ・ マニュアル関係の整備をしっかりと行った。
  - ・ ほのぼのにて介護計画書スタートする。
  - ・ FIFE（科学的介護加算6か月に一回）厚生労働省に送った。  
令和6年度4月より（3か月に一回）に変更となる。
  - ・ このままのペースの売上げの確保をする。  
（増回希望の方の確保をする）  
（体験利用は出来るだけ行っていく）  
（空きは作らない（空きが出来た時は他のご利用者様のケアマネや家族などに連絡）  
利用してもらう）
- これ以上の売上げを作ろうとするとオーバーになりオーバー減算となってしまう為現在のペースの維持に努める。

#### ○中長期計画に基づき

- ☆ 認知症の方への勉強会や研修を増やした。
- ☆ 質の高い介護を目指して接遇・コミュニケーションなども会議などで話し合った。
- ☆ 優しく、寄り添う介護をして症状のコントロールを行い  
現在帰宅願望0施設として動く事が出来た。
- ☆ 家族の介護負担を軽減できるように 運営推進会議や送迎時のお話をしっかり傾聴した。

☆運営推進会議

令和5年 6月15日 (木)	12名	家族様 民生委員 ケアマネ様
令和5年 12月21日 (木)	15名	ご本人様 地域包括センター様など
<b>内容 活動業況の報告</b>		
令和5年度の、事業計画、目標、イベント、要慮者避難施設、職員外部研修計画についての報告を行う。認知症対応型通所介護のあり方、今後の協力をお願いする。今後の地域の活動にも一緒に参加させていただけるように願います。		

[実績報告]

年月	営業日数(日)	目標	利用者様 (名)	一日平均利用者様人数 (名)	目標達成率	前年対比
令和5年4月	25	300	262	10.5	87.3%	135.1%
5月	27	324	302	11.2	93.2%	155.7%
6月	26	312	294	11.3	94.2%	127.8%
7月	26	312	302	11.6	96.8%	137.9%
8月	27	324	308	11.8	95.1%	149.5%
9月	26	312	289	11.1	92.6%	135.0%
10月	26	312	288	11.1	92.3%	135.2%
11月	26	312	276	10.6	88.5%	100.7%
12月	26	312	302	11.6	96.8%	109.8%
令和6年1月	24	288	280	11.7	97.2%	126.1%
2月	25	300	271	10.8	90.3%	119.4%
3月	26	312	295	11.3	94.6%	111.3%
合計	310	3720	3469	-	-	-
年間平均	-	-	-	11.2	93.3%	126.9%

12カ月前年比を超えることが出来た。去年から736名上昇することが出来た。

今後も引き続き、人数・売上げの維持を行う。

〔勉強会〕

2023年	内部勉強会内容	感想・勉強したこと	担当者名
4月21日	業務改善 (LIFE) について	利用者様の状態やケアの実績の変化等を踏まえた計画等の改善を行うことで データに基づきさらなるPDCAサイクルを推進し、ケアの質の向上に繋げ、 精度の向上を行うことが出来るという事を学習した。	井上
5月19日	リスクマネジメント (ヒヤリハット)	「介護現場のリスクマネジメント・事故防止」考え方・重要性について学習し ご利用者様の安心と安全を確保でき、職員を守る事にもつながり、 事業所の信用も高くなる事を学習する。	長田
6月16日	緊急時の対応 (避難確保計画に基づいて)	火災が起きた時・水害が起こった時に 私たちが出来ること、行動する事を 学習した。上階にご利用者様を運ぶことが出来るのか？階段は上がれる のか？避難場所まで誘導できるか？連絡方法などを学習した。	河田
7月21日	認知症ケアについて	認知症の方の症状について学習した。認知症の方への接し方・家族への支援 コミュニケーションなど基本の原則を学習し、充分に理解し介護をしていく 事を学習した。	小西
8月18日	感染症や災害への対応力	感染症や災害に負けない強靱な社会を作る。感染症対策推進、災害からの復旧 復興・防災・県土強靱化、地域防災力と危機管理の強化を学習した。	田中
9月15日	人権研修ー権利擁護ー	すべての人権を尊重される社会を築く4つのバリアについて学習した。 物理的・制度的・文化・情報面・意識上のバリアがあることを理解した。	吉村
10月20日	BCP業務改善計画について (LIFE)	LIFEを活用した介護施設・事業所におけるPDCAサイクルの推進を学習した。 目標を設定し達成に向けた計画を立てた。	長田
11月17日	接遇・マナーについて	介護における接遇（そもそも接遇とは？）を学習した。介護における・ 挨拶・言葉遣い・表情・態度・身だしなみを考え、チェックリストを 使って自分には出来ているか？を学習した。	井上
12月22日	身体拘束・虐待	虐待の行為について（身体的・性的・心理的・放置・放棄・経済的）などが あることを学習した。家族からの虐待を見つけたらすぐに報告するなど 連携をはかる。また身体拘束なども行ってはいけないことを学習した。	小西
2024年 1月19日	感染症・食中毒事例検討	食中毒の原因はなにか？台所に潜む食中毒の危険・食中毒の予防原則を 学習した。手洗い・うがいを行うことを意識付けを行った。	吉村
2月17日	倫理・法令順守について	倫理、職業倫理に反する言動、行為はしてはいけないことを学習した。 人権を守ることが倫理観や職業倫理の意識を高めることにつながる事や 内容を纏めた。	田中
3月15日	非常時の訓練（防犯・消防）	認知症利用者の避難訓練を、出来るだけ分かり易い短い言葉選び をし、コロナウイルス禍の避難訓練は密を避けるということの周知徹底。	河田

2023年度のイベント

日	場所	利用者 参加人数	前年度 参加人数	担当	状況報告
4月6日	花見 ちよっとだけ	11名	10名	田中	<p>近くの桑田公園の桜を少しだけ散策した。 3月に行けなかった方だけ参加した。 未来のフロアでは体操や春に合うレクリエーションを行い散策した。</p> <p>目的・趣旨：桜を見に行くことで季節を感じて頂き外を歩く事で認知症状緩和の為に企画した。</p>
4月26日	芥川鯉のぼり 見学	12名	—	井上	<p>大雨でしたが昼からは上がってくれたので車窓から見学に行った。鯉のぼりは雨を吸って重たく泳いでる姿は見れませんでした。鯉のぼりの数に圧倒されておられた。</p> <p>目的・趣旨：初めての企画で目に焼き付けてもらう企画。季節を感じる企画をした。</p>
5月7日	母の日会	12名	11名	長田	<p>真っ赤なカーネーションと写真撮影をしてなかなか出来ない全員での写真も撮った。笑顔溢れる会となった。</p> <p>目的・趣旨：子育てをしていた頃を思い出していただき日頃の感謝を込めて開催した。</p>
5月18日	バラの会 若園公園	12名	10名	小西	<p>暑い日でした。日陰を求めて動く。体調管理・水分補給をしっかりと行う。バラの香りと花を散策して綺麗だったね、匂いが良かったと言われていた。</p> <p>目的・趣旨：認知症予防として、バラを鑑賞することで季節を感じて頂き、仲間と協力して現場に行くことを企画をした。</p>
6月22日	父の日 ビンゴ大会	11名	10名	田中	<p>皆様の日頃の感謝を込めて写真入りメッセージカードをプレゼントさせて頂き男性は照れくさそうにされて、女性にはこやかに過ごされる。</p> <p>目的・趣旨：活躍されていた頃を回想していただき日頃の感謝を込めて企画・開催した。</p>
6月28日	あじさい会	12名	11名	小西	<p>職員のお家で咲いたあじさいで写真会をした。 蒸し暑さを吹き飛ばす会となった。</p> <p>目的・趣旨：季節感を感じて頂き、認知症状の緩和が出来き認知症進行防止になるために企画をした。</p>
7月7日	七夕会	12名	10名	吉村	<p>短冊に願い事を書いて、笹の葉に飾りつけを行った。 理事長から大きな笹の葉が届いたのでいっぱい飾りをつける事が出来た。皆様も大興奮でした。</p> <p>目的・趣旨：考えて書くことが海馬にはとてもいいので利用者様にも願い事をするという企画をした。</p>
7月26日	夏を乗り 切ろう会	12名	12名	長田	<p>猛暑となり、本当に暑い日になる。ご利用者様と一緒に夏の話をしたりビンゴゲームをして盛りあがった。</p> <p>目的・趣旨：ビンゴゲームをすることで脳の活性化をはかり認知症予防にもつながる企画をした。</p>



8月3日	ひまわり会	12名	12名	吉村	<p>ヒマワリをイメージして元気に体操やゲームを開催した。かき氷を用意して皆様に召上がった。</p> <p>目的・趣旨：かき氷などを食べることで季節感を感じていただき、認知症進行の防止などを目指した。</p>
8月24日	未来の輪 (和) お祭り	12名	12名	田中	<p>盆踊りの曲に合わせて踊ったり歌ったりして過ごした。お昼からは屋台やゲームなどをし、ご利用者様に喜んでもらう。法被を着て皆さんで写真を撮った。</p> <p>目的・趣旨：夏の季節感を味わってもらえるように企画をした。夏祭りの雰囲気を感じてもらった。</p>
9月18日	敬老会	12名	10名	小西	<p>日頃の感謝を込めてお祝いした。</p> <p>感謝を込めて手作りカードとお菓子のプレゼントをした。松花堂弁当もとても喜んでもらった。</p> <p>目的・趣旨：私達の日頃の感謝の気持ちと今後の健康を願い企画しました。</p>
9月29日	畑 収穫祭	12名	8名	小西	<p>未来の畑でとれたじゃが芋とさつまいもを皆様に掘ってもらった。真っ黒になった手をみて懐かしさを感じてもらった。お昼ご飯のおかずとして提供した。</p> <p>目的・趣旨：ご自分たちで作った野菜を収穫することで達成感が生まれ季節感を味わって頂くための企画としました。</p>
10月9日	大運動会	12名	12名	河田	<p>玉入れや借り物競争等をして運動会気分を味わってもらった。皆様も大きな声で応援したりハッスルしておられた。</p> <p>目的・趣旨：運動会を実施し体を動かして楽しんで頂けるように企画し開催した。</p>
10月26日	いもの会	12名	9名	小西	<p>第2弾の芋掘りでしたが 今年あまり大きいものがとれなかったのが皆さん残念そうだった。畑に詳しいご利用者様が指導し盛り上がった。</p> <p>目的・趣旨：秋の味覚を感じていただくことで、季節感を感じていただき、認知症状の緩和につなげるための企画。</p>
11月9日	孫子老 フェスタ見学	12名	12名	田中	<p>皆様の展示会にマイカル迄行った。はぐれないように最新の注意をはかったり、展示品にふれないようにする事が大変だった。</p> <p>目的・趣旨：展示会に参加し自ら作った作品をみることでいきいきとした生活が出来る様に企画した。</p>
11月13日	紅葉狩り	12名	12名	長田	<p>当日は寒くて皆さまが風邪をひかないように防寒具を持参していった。それでも寒いということで写真撮影をして帰宅した。</p> <p>目的・趣旨：認知症予防として、秋の季節を感じて頂く為に企画、開催した。</p>

11月22日	いい夫婦の日	12名	12名	吉村	仲良かったよ～もう死んでもた！など自分からお話してくれて夫婦の日を楽しんだ。 目的・趣旨：回想法を取り入れて昔の話をしていただき認知症予防の為 開催した。
12月22日	クリスマス会	12名	11名	河田	クリスマスアートを作った。(庄栄エルダーに展示) 朝からクリスマスソングを歌ったり職員の手作りケーキを食べて過ごした。 目的・趣旨：クリスマスの雰囲気や年末を感じ、又、回想法も取り入れた認知症の進行防止の為実施。
2024年 1月6日	ハッピー ニューイヤー 会	12名	7名	小西	新年をお祝いして、書初めをした。 お昼からは職員手作りの福笑いをつくり全員で福笑いをした。初笑いで楽しく過ごした。 目的・趣旨：新年の雰囲気を感じて頂き、又「福笑い」などでの回想法での認知症進行の防止の為実施。
1月8日	朧水神社参拝 初詣の会	12名	10名	吉村	お賽銭をもって神社に初詣にいった。本当に長く手を合わせてくれるご利用者様も多かった。境内に入る階段は転倒しないように気をつけた。 目的・趣旨：外に出向きお詣りをする事で外の空気にふれ歩行することで認知症状の緩和に繋がるための企画。
2月3日	節分会	12名	12名	田中	スタッフが鬼に扮しお手玉を投げて鬼退治をした。 「鬼は外、福は内」と大きな声を出しておられた。 目的・趣旨：行事に参加し季節感を感じて頂くための企画。
2月14日	バレンタイン デー (ビンゴ)	12名	11名	井上	チョコレートを食べる ビンゴ大会をして過ごした。 昔はバレンタインデーなんてなかった。手をつなぐのも恥ずかしかったと言われてた。 目的・趣旨：バレンタインデーの企画をすることで回想法をとり入れて認知症緩和の為の企画。
3月3日	ひなまつり会	12名	9名	小西	男性職員がお内裏様でご利用者様がお雛様になり写真を撮った。パネルを作って顔を出した。 目的・趣旨：ひなまつりの雰囲気を感じて頂く為、また、子育ての頃を回想して頂く為の企画。
3月28日	水尾公園 お花見会	12名	10名	河田	昨年はこのころになると満開でしたが今年は1本しか咲いてなかった。皆さんと速かったねと言いながら外の散歩をした。 目的・趣旨：春の季節感を感じて、歩くことで機能訓練になるための企画。

☆現在最大人数の為、イベントは行っているものの臨時利用の受け入れがストップしている。

体調不良等で休まれた方がいる場合はお知らせして参加を促す。

今期のイベントは ほぼ12名の業績で経過した。

## 事務所

- 職員 入職 竹中星輝(特養)4月1日 西岡伸也(ファーム大岩)4月16日  
清水心乃(フォルテひまわり)5月1日 岡崎弘将(高槻デイ)5月1日  
狩野茂太(特養)5月16日 佐々木見穂(相談ひまわり)5月15日  
中雅弥(高槻デイ)6月1日 山本咲季(特養)7月1日 廣田貴之(特養)7月16日  
木暮真弓(高槻ケアプラン)10月16日 樋口祥江(東・白川)11月1日  
進昭保(太田・西河原)11月16日 谷渕由季(高槻ハルパ)1月1日  
迫田友理(三島・庄栄)1月10日 須見公美(相談ひまわり)3月16日  
芹生由美子(特養)3月16日
- 退職 垂又優子(相談ひまわり)4月3日 柴口聖絵(ファーム大岩)5月31日  
隅田翔子(ファーム大岩)5月31日 森岡知子(高槻ケアプラン)5月31日  
吉村文彦(相談ひまわり)6月29日 木部由紀子(特養)7月31日 青木藍(デイ)8月15日  
高純子(デイ)9月15日 間部保子(相談ひまわり)9月30日 坂本音子(特養)10月15日  
河田瑞起(特養)10月25日 今西章裕(フォルテひまわり)12月6日  
瀧本優哉(ひまわりの杜)12月31日 西岡伸也(ひまわりの杜)12月31日  
米田明美(太田・西河原)1月15日 渡部なつみ(高槻デイ)1月15日  
竹中星輝(特養)1月15日 北島優汰(高槻デイ)1月31日 大原克久(ひまわり)2月29日  
小林陽子(庄栄デイ)3月31日 山崎尚子(特養)3月31日
- 休職 高橋美由紀(総務)6月9日～7月15日 笹岡章男(特養)8月21日～10月15日  
狩野茂太(特養)9月8日～10月5日 秦 真弓(総務)11月21日～1月15日  
齋藤朱美(庄栄デイ)3月17日～
- 復職 石田奈月(特養)4月10日 高橋夏紀(総務)5月1日 齋藤愛美(特養)9月23日

- 戦略会議 令和4年度 決算期 令和5年4月21日  
令和5年度 第1四半期 令和5年7月21日  
令和5年度 第2四半期 令和5年10月20日  
令和5年度 第3四半期 令和6年1月23日

- 感謝のタベ 6月17日庄栄エルダーセンターにて開催 総勢200名

- 人事評価会議 6月19日 6月21日 6月27日 6月29日  
11月16日 11月20日 11月21日

- 職員確保計画 来期に向かったの職員採用の計画
- 1・専門学校・短大・高校の求人訪問と実習先の依頼
  - 2・ホームページによる求人
  - 3・ハローワークによる求人

- 7月18・20日 定期健康診断に加えストレスチェック制度実施

令和5年度研修報告

	月/日	研修内容
平方 陽子	4/27	接遇について重要性と基礎の5原則
神野 享士	6/28	児童虐待への理解と対応のあり方について学ぶ
神野 享士	7/27・28	ダイバーシティケアサミットインKOBÉ～持続可能な共生社会をめざして～
石田 奈月	8/4	施設内で感染対策を推進出来る人材育成の為の研修
増井 隆	8/17	大阪府認知症キャラバンメイト養成研修
今井 良	9/25	安全運転管理者講習
増井 隆	6/6～9/29 8日間	令和5年度 大阪介護支援専門員更新研修Ⅱ
中尾 巖	8/28	都道府県経営協セミナー「どこもかしこも人がいなくなる！どうする社福」
田村 理恵	10/16	フレイルとリハビリテーション栄養
高木 美佐子	10/10	福祉サービス提供事業所にとってのBCP
沖本 久実・保田 るり・樋口 祥江	2/20	認知症サポーターに伝えたいこと
福田 美由紀	3/16	せん妄の基礎「何かいつもと違う」を大事にする